

12 ヒナユキスズメ

(ユキスズメガイ科)

兵庫県ランク:A

Phenacolepas sp.

環境省ランク:NT

種の概要

三浦半島から九州にかけての大きな内湾環境の河口干潟に分布する。干潮時に露出する潮位の砂泥底に半ば埋もれた岩礫の裏や側面に付着する。長径6mm、短径4.5mm程の未記載種。次種のミヤコドリガイ(貝類Aランク)に似るが、殻頂部が左にややずれており、傘高が低い。殻表面の細かい彫刻は成長すると浸食されて不明瞭なことが多い。殻色は黄色や桃色を帯びた肌色を呈し、軟体は赤橙色で、触角は長い。

主要な選定理由

人為性			生息環境の特殊性		学術性		
個体数激減	分布域に影響	営利目的捕獲	特殊生息環境	地域的孤立	分布が極限	分布の限界	希少
			○	○	○		○

県内分布

姫路市、相生市、たつの市、赤穂市、洲本市、南あわじ市、淡路市

県内における生息状況及びその他特記事項

ランク変更なし。姫路市以西の瀬戸内海流入河川と淡路島で確認され、還元的な環境下にある干潟において、後述のワカウラツボ(貝類Aランク)と同所的に生息することが多い。生息地はミヤコドリガイとさほど変わらない環境ではあるが、より、還元性の進行した泥干潟の傾向にある。

保護上の留意点

河口にある泥干潟の半ば埋もれた転石に生息し、適度に石裏に甲殻類や環形動物などの生痕による酸化部が必要と考えられる。このような微環境を特定して保全するのは困難であるが、既知産地においては現状維持に努め、護岸工事や埋め立てを行わないよう広範囲な泥干潟の保全に配慮する。



【執筆者】 増田修